

私立大学図書館協会東地区研究部
2005年度第1回運営委員・研究分科会代表者会議議事録

- 日時 : 2005年5月24日(火) 15:00~17:00
場所 : 国土館大学中央図書館4F AVホール
出席者 : 研究分科会代表者
- [分類] 藤倉恵一(文教大学)
 - [逐次刊行物] 吉野ひろみ(東洋大学)
 - [パブリック・サービス] 伊藤秀弥(立教大学)
 - [図書館運営戦略] 吉川啓子(昭和女子大学)
 - [レファレンス] 会員:高杉幸史(中央大学)
 - [理工学] 内山光子(日本大学)
 - [資料組織] 池田和広(鶴見大学)
 - [相互協力] 伊藤 彩(東京医科大学)、副代表:三上 彰(桜美林大学)
 - [西洋古版本] 副代表:五島正美(中央大学)、会員:金田陽治(成城大学)
 - [企画広報] 奥原由美子(専修大学)
 - [和漢古典籍] 沼田晃佑(身延山大学)
 - [メタデータ] 鈴木 学(日本女子大学)
 - [情報リテラシー教育] 穴久保恵治(筑波学院大学)
 - [L-ラーニング学習支援システム] 池田剛透(多摩大学)
- 研究部運営委員
- 秋沢久美子(駒澤大学)、五十嵐明子(法政大学)、石原智子(慶應義塾大学)
市川美香(昭和女子大学)、佐藤研一(立正大学)、関 達朗(東京経済大学)
長岡三智子(早稲田大学)、野口真生(大正大学)
- 研究部担当理事校(国土館大学)
- 齊藤 毅、渡辺美好、相田 勉、笹岡文雄
- 特別同席者:ホームページ委員
- 野田雅美(国土館大学)
- 欠席者 : 研究分科会代表者
- [北海道地区] 佐々木優(札幌大学)

会議に先立ち、研究部担当理事校の挨拶と参加者の自己紹介があった。

議 題 :

1. 2005年度研究部活動計画(案)について

研究部担当理事校から、資料1に基づいて説明がありました。

2．2005年度研究部予算（案）について

研究部担当理事校から、資料2に基づいて説明があり了承された。特に今年度は北海道地区研究分科会が地元で研究報告大会を行う予定があり、研究部役員の研究部活動にかかわる補助のため、「研究部活動費」が設けられたことが報告された。

3．2005年度研究分科会報告大会について

研究部担当理事校から、資料3に基づき研究分科会報告大会発表スケジュール(案)について説明があり、変更の希望がある研究分科会は申し出るよう要請があった。

4．2005年度研究分科会活動計画について

研究部担当理事校から、資料4について説明があり、各研究分科会においては今後これに沿って活動して頂きたい旨要請があった。

5．2005年度研究分科会予算計画について

研究部担当理事校から、資料5について説明があり了承された。

6．研究分科会マニュアル2005年度版について

研究部担当理事校から、資料6-1は運営委員会で承認された資料6-2と6-4に基づいて修正したものであるとの説明があり了承された。また、マニュアルは研究分科会活動についての約束事を記したもので、必要に応じ改変するものであることが確認された。

資料6-3については、再度意見集約して検討することとなった。

7．2005年度私立大学図書館協会スケジュールについて

研究部担当理事校から資料7について説明があり、日程の決まっていないところは運営委員会で決定することで了承された。

8．研究分科会運営上の問題点について

研究分科会の参加会員減少については、資料6-3に記載された事項(疑問点)ともあわせて、引き続き検討することとなった。

9．研究分科会会員更新スケジュールについて

分科会更新担当理事校から、資料9に基づいて説明があり了承された。

10．協会ホームページについて

(4) 研究部担当理事校より、和漢古典籍研究分科会からアンケート実施の申請を受けたので、アンケートのガイドラインに沿って検討したうえ、部会長校とも協議し承認をした、その際若干の参考意見も付したとの報告があり、了承された。

ホームページ委員から、今年度は委員が半分になったことと、加盟館名簿の整理を重点におく等の報告があった。

11．分科会関連業務の分担について

研究部担当理事会から、資料11に基づき説明があり了承された。

12. その他

- (1) 研究分科会の予算でサーバーを借りることは可能かとの質問に、初めての事なので検討することとなった。
- (2) 月例担当理事校より、「2005年5-6月研究分科会開催予定」の掲載原稿について報告があり、日時・会場・内容が未定である研究分科会がいくつかあるので、事前計画に心がけてもらいたい、との要請があった。

以上